

阿南町 通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組の方針～

平成26年12月

阿南町通学路安全推進会議

1 プログラムの目的

平成24年、全国で登下校中の児童生徒（以下「児童等」という。）が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成24年8月24日に町内4小学校の通学路において関係機関（飯田建設事務所、阿南警察署、小学校、町振興課、町教育委員会）により緊急合同点検を実施し、同年11月7日に通学路における緊急合同点検終了後の対策会議を開催し、必要な対策内容についても関係機関で協議しました。

引き続き通学路の安全確保に向けた取組を行うため、このたび、関係機関の連携体制を構築し、「阿南町通学路交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童等が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

2 通学路安全推進会議の設置

関係機関の連携を図るため、以下をメンバーとする「阿南町通学路安全推進会議（以下「推進会議」という。）を設置しました。本プログラムは、この会議で議論し、策定しました。

- (1) 阿南警察署（交通課長）
- (2) 長野県飯田建設事務所（整備課長、計画調査係）
- (3) 阿南町立小中学校（学校長、PTA会長）
- (4) 阿南町振興課（振興課長、農林土木係）
- (5) 阿南町教育委員会（教育長、子ども教育係）

3 取組方針

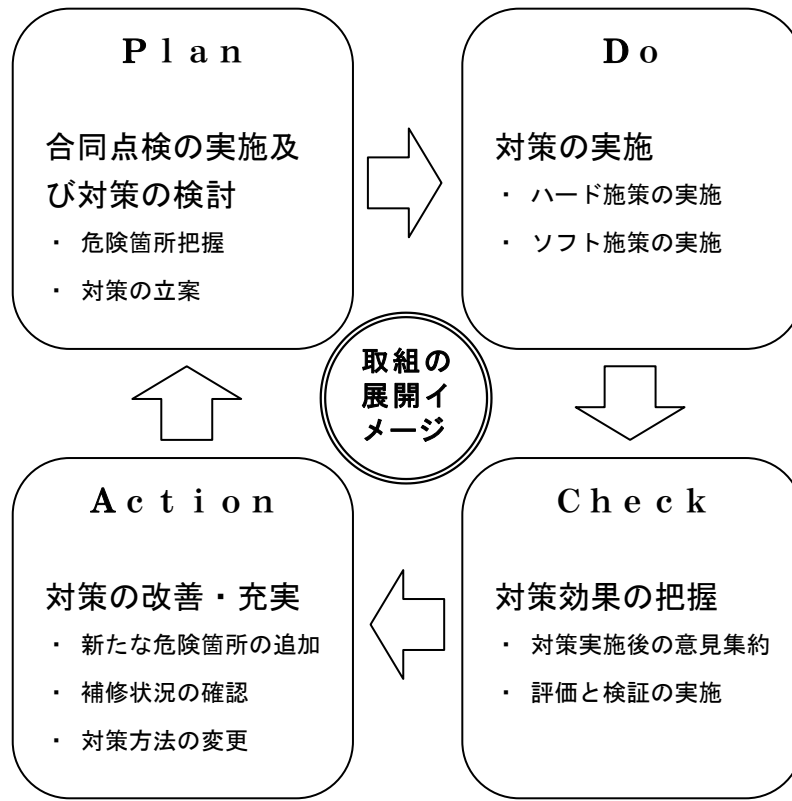
(1) 基本的な考え方

児童等が安全・安心に通学できることを目的に、緊急合同点検後も合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善・充実に努めます。

また、行政は、通学路の安全対策を、学校は、中心となって交通安全教育を推進するとともに、関係機関は、地域と協働し児童等の安全を確保します。

これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図っていきます。

[通学路安全確保のためのPDCAサイクル]



(2) 合同点検の実施及び対策の検討 (Plan)

ア 危険箇所把握

各小中学校は、年1回、通学路の危険箇所を教育委員会へ報告します。

イ 合同点検の実施等

危険箇所の報告を受け推進会議のメンバーが、2年に1回、夏休み前を目途に合同点検を実施します。

ただし、合同点検を行わない年は、緊急に対策が必要な箇所についてのみ、町と学校が点検を行い、推進会議において報告します。

ウ 対策の立案

推進会議では、合同点検の結果から明らかになった対策が必要箇所について、箇所ごとに歩道整備や防護柵設置のようなハード施策の実施や交通規制や交通安全教育のようなソフト施策の実施など具体的な実施メニューを検討し立案します。

(3) 対策の実施 (Do)

対策の実施にあたっては、ハード施策及びソフト施策が円滑に進むよう、推進会議のメンバー間で連携を図ります。

(4) 対策効果の把握 (Check)

合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また児童等が安全になったと感じているのか等を確認するため、保護者や地域の意見を集約し、対策効果の評価と検証を実施します。

(5) 対策の改善・充実 (Action)

対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、新たな危険箇所の追加、補修状況の確認及び対策方法の変更など対策内容の改善・充実を図ります。

4 箇所図、箇所一覧表の公表

小学校区ごとの点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するために小学校区ごとの「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し、公表します。

【別添資料】

(1) 別添 1 対策一覧表

(2) 別添 2 対策箇所図